

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R203	社会科教育法Ⅰ /社会科・公民科教育法Ⅰ	2年	講義	2	寺内孝夫
<b>授業概要</b> 社会科教育法Ⅰでは、中学校社会科を担当する教師に必要な授業構成に関する基礎的概念を理解することを目標とする。本科目では、社会科教育の基盤を押さえるため、教科の歴史の変遷、諸外国の社会科教育、代表的授業論を学修した後、「中学校学習指導要領社会科地理的分野・歴史的分野」の構成内容を概観する。本科目の履修成果は、社会科教育法Ⅱにおける教育現場の諸課題を踏まえた実践的力の育成の基礎となる。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 1 「中学校学習指導要領社会科地理的分野・歴史的分野」の目標及び主な内容並びに全体の構成内容を理解している。 2 社会科地理的分野・歴史的分野に関する個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3 社会科地理的分野・歴史的分野の学習評価の考え方を理解している。 4 社会科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができ、中学校社会科地理的分野・歴史的分野に係る授業構想について、その略案を作成できる。 5 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	「社会科教育法」の概要	「社会科教育法Ⅰ・Ⅱ」の学修内容、到達目標、評価基準、教科書等について学び、学修方法を身に付ける。 「社会科教育法」履修に関する留意事項、学修教材の入手方法、学習指導要領			
2	戦前の地理・歴史教育の特質	学制期から終戦直後までの地理・歴史教育の展開を概観し、その特質を理解するとともに、社会科教育成立の背景についての基本的知見を得る。 郷土教育運動、国民科の成立			
3	社会科の成立と展開	新制中学校・高等学校における社会科教育のねらいを、民主主義社会の樹立の観点から概観し、その果たした役割について考察する。 『くにのあゆみ』の刊行、学習指導要領社会科編、一般社会科と『民主主義』			
4	諸外国の社会科の動向	アメリカ、イギリス、中国における社会科教育の動向を概観し、我が国の社会科・公民科教育との比較を通して、教科の意義や役割について考察する。 NCSS のナショナルスタンダード、シティズンシップ教育、「品德と社会」			
5	社会科の指導計画	社会の指導計画はどのような構成で作成したらよいか。基本的な考え方について理解し、学習指導案作成の際に活用できる知見を得る。 各学年年間カリキュラム計画の作成、単元計画の作成、授業計画の作成と評価計画			
6	理解としての社会科授業	知識や概念の習得の前提は「理解」であるが、社会科における理解型授業の在り方について具体例を基に考察する。 子どもの社会認識体制、事實的知識、概念的知識、価値的知識			
7	社会科地理授業の構成(1) 地域構成	世界と日本の「地域構成」を大観する授業を構成する際の基本的知見と教材構成について具体例を基に実践的に学修する。 地球儀や地図の活用、緯度と経度の指導、時差・国名と地名・地域区分の指導			
8	社会科地理授業の構成(2) 世界地誌	世界の諸地域について、六州の地域的特色を理解させるためには、どのような地理的事象をとりあげ、どのような主題を設定したらよいか、レポートを基に検討する。 例) アジアの人口急増と多様な民族・文化、EUの発展と地域間格差			
9	社会科地理授業の構成(3) 日本地誌	日本の諸地域を七区分し、様々な考察の仕方での地域的特色をとらえさせる指導をどのように行ったらよいか、レポートを基に検討する。 自然環境・産業・人口と都市村落についての考察指導の方法			
10	社会科地理授業の構成(4) 地域調査	地理的認識を深めさせるとともに、調査を行う際の視点や方法をどのように指導したらよいか、レポートを基に検討する。 世界の様々な地域の調査・身近な地域の調査の指導			

11	社会科歴史授業の構成(1) 前近代史	各時代の特色を大観的に学ぶための教材構成を具体的事例を素材として実践的に学修するとともに、歴史的思考力に関する基本的な知見を得る。 時代区分論、古代史学習・中世史学習・近世史学習のポイントと東アジアの歴史
12	社会科歴史授業の構成(2) 近代史	近代の特色を大観的に学ぶための教材構成について具体的事例を素材として実践的に学修するとともに、人物学習レポートを基に効果的な指導の在り方を検討する。 歴史学習における近代史の意義、近代史学習の課題、人物学習の指導法
13	社会科歴史授業の構成(3) 現代史	現代の特色を大観的に学ぶための教材構成について具体的事例を素材として実践的に学修するとともに、現代を読み解く学習テーマを多角的視点から検討する。 歴史学習における現代史の意義、現代史学習の課題、現代を読み解く学習テーマ
14	社会科歴史授業の構成(4) 地域史	地域の歴史を調査する学習指導を通して伝統や文化、地域や国家に関する理解や関心を高めるにはどのような教材を開発したらよいか、「宇都宮」を例に検討する。 門前町・城下町・宿場町としての宇都宮の歴史、社会参画につながる学習テーマ
15	社会科教育法 I の学修のまとめ	社会科教育法 I の学修の総括を通して、社会科教師として必要な基本的資質を確認するとともに、職業人として社会の発展に寄与しようとする意欲や態度を身につける。
<p>準備学修(授業外の自己学修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業計画に示された学修内容に沿って準備学修を深めておくこと。特に、キーワードや専門用語については、参考文献やネット情報等を活用し、確実に調べておくこと。</li> <li>2 レポートも活用して到達目標の実現を図るので、準備学修を確実に実施すること。</li> <li>3 特に、各自の意見を表明する項目については、学修を深め、根拠を示しながら論理的な文でもって記載すること。</li> </ol>		
<p>成績評価の方法・基準(%表記)</p> <p>定期試験 70%(専門用語を使用し、根拠を示しながら論理的な文でもって解答すること。各自の意見を表明する際には、感想でなく、論理的に説明すること。)</p> <p>レポート 30%</p>		
<p>教科書</p> <p>中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 (平成 20 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>新中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>中学校学習指導要領解説 社会編 (平成 20 年 9 月 文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領解説 公民編 (平成 22 年 6 月 文部科学省)</p> <p>参考書等</p> <p>中学校教科書『新編 新しい社会 地理』(東京書籍)</p> <p>中学校教科書『新編 新しい社会 歴史』(東京書籍)</p> <p>授業中にも適宜資料を配付する。</p>		
<p>履修上の注意・学修支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 出席確認をスムーズに行うため、指定された座席に着席する。</li> <li>2 遅刻・早退等不在時間計10分以上は、受講時間確保上、出席したとは認められない。</li> <li>3 全人教育及びキャリア教育の観点から、講義に際しては礼儀とけじめを重視し、講義の開始時・終了時には起立の上、受講者相互の挨拶を励行すること。</li> <li>4 望ましい受講環境の維持のため、私語は厳に慎むこと。</li> </ol> <p>受講上の疑問や講義内容に関する質問がある場合は、講義前後に問い合わせると共に、オフィスアワーを積極的に活用すること。</p>		